

ウチワゴケ

Gonocormus minutus (Blume) S. E. & E.

コケシノブ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー

該当なし

選定理由

生育地が稀で個体数が少ない。(現況:RO)

形態

葉は単葉で扇形から腎形で掌状に切れ込み、ごく小型である。根茎は細くて長く這う。

国内分布

北海道、本州、四国、九州、小笠原諸島。

県内分布

外浦区、加賀中央区、南加賀区。

生態など

常緑性の着生植物、繁殖は根茎と孢子による。孢子は初秋から熟し始め、風散布する。

生育環境

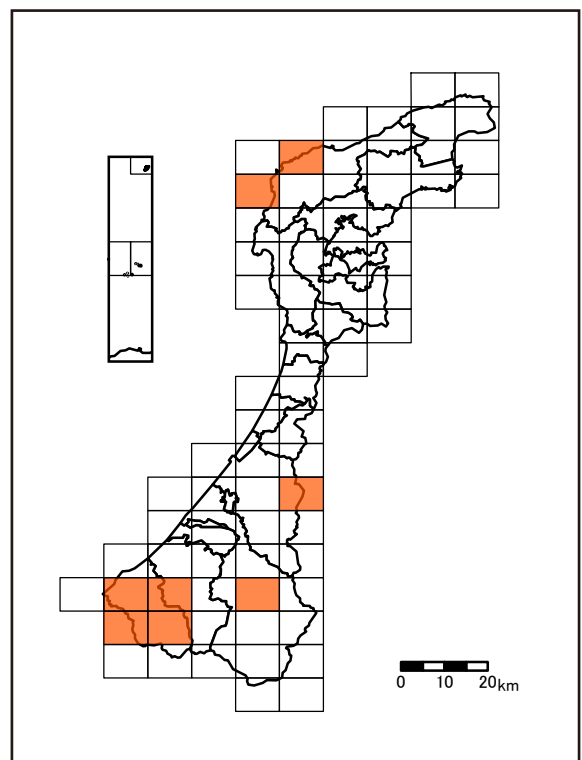
低地の陰湿な樹林の岩上や岩壁または樹幹に群生する。

危険要因

森林伐採、道路工事、河川開発、自然遷移、産地局限。



本多郁夫・1999年10月18日・小松市



県内の分布